

はじめに

この Web ページからリンクが貼られている PDF ファイルは、平成 22 年度東洋文化研究所先端地域研究プログラム「アジアの脱植民地化と伝統的産業の再編成」の一環として行った「インドネシアのアブラヤシ農園企業データベース作成」研究の、中間成果をとりあえずまとめたものである。

「[調査の段取り](#)」に説明されているように、この調査は次の手順で進められてきた。

(1) インドネシアにおけるアブラヤシ農園企業 800 社以上を網羅した同国政府中央統計庁(BPS)の 2008 年刊行資料の記載データにもとづき、企業一覧表を作成した。

(2) インドネシアの民間コンサルタント企業が作成した2つの異なるパーム油関連産業ディレクトリに記載されたアブラヤシ農園企業のデータとの照合を行った。

(3) 同じくインドネシアの法律コンサルタント会社が作成した企業の設立・定款変更に関する官報(およびその補遺)の目録を参照し、関連する官報の年度と番号を割り出し、上記の企業一覧表に記入した([BPS 資料掲載農園企業一覧](#))。

ただし、この目録は 2000 年までに作成された官報を対象としており、それ以後の官報についての調査は、現状では技術的に困難である。

(4) 該当官報の記載内容を、ジャカルタにあるインドネシア大学法学部附属法律文献センター(PDH-FHUI)で調査し、あらかじめ用意した MS-Excel 形式ワークシート([調査データ記入シート](#)を参照)に転記した。

(5) さらに、同センターで収蔵漏れとなっている官報につき、その版元であるインドネ

シア共和国国立印刷所(PNRI)資料室での追加調査を行った。

ここでは、すでに調査データ記入シートの作成が終了した 503 社(について、PDF 化した中間成果をインドネシア語のまま公表することにした。(記入済みシート_1~9)

今後約 1 年のうちにこれらのデータをリレーショナル・データベースに編纂し直して、その分析結果を別途論文にまとめる予定である。

なお、この研究の経緯と目的については、次の拙論をご参照ください。

加納啓良「東南アジア・プランテーション産業の脱植民地化と新展開——インドネシアとマレーシアのアブラヤシを中心に」(『東京大学東洋文化研究所紀要』158, pp. 221-252.)

2011 年 11 月

加納 啓良